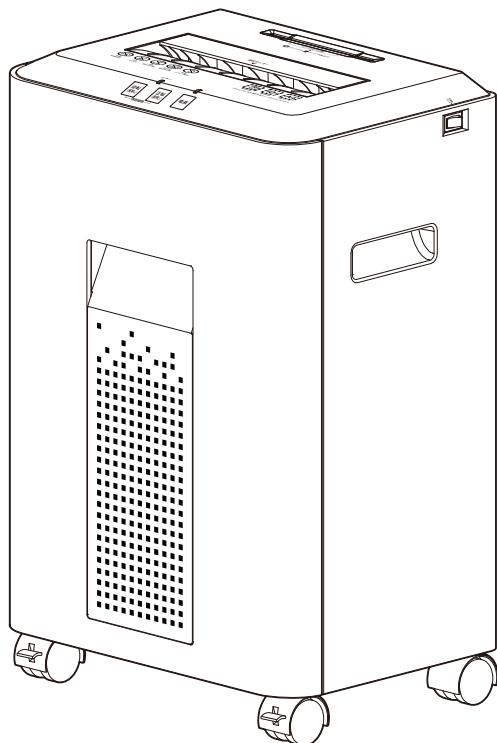




IRIS OHYAMA

屋内用



本機は紙・CD・DVD・
プラスチック製カード用
シュレッダーです。
他の目的には使用しない
でください。

この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

保証書付

(裏表紙)

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよく読んで、正しく使用してください。
- 使用の前に「安全上の注意」を必ず読んでください。
- この取扱説明書は使用する方がいつでも見ることができるよう、大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店から受け取ってください。

オフィスシュレッダー OF16J

取扱説明書

もくじ

ご使用の前に

安全上の注意	2
使用上の注意	3
各部の名称	4

取り扱いかた

紙の細断方法	6
CD・DVD・プラスチック製カード類の細断方法	8
お手入れ	9

こんなときには

故障かな?と思ったら	10
仕様	11
保証とアフターサービス	11
保証書	裏表紙

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。
人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことと示す記号です。



警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う
おそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグのほこりは乾いた布で定期的に取る
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。

- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。



- お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電やけがの原因になります。



- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。

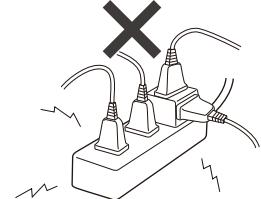


- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、修理専用コールへお問い合わせください。



- 電源コードをたばねて使用しない
過熱してやけどや火災の原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。

- 電源コードを傷つけない
- 持ち運び時や収納時に電源コードを引っ張らない
傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重い物を載せる、挟み込むなどしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



- コンセントや延長コードの定格を超える使いかたをしない
火災の原因になります。

- 交流100V以外では使わない
火災・感電の原因になります。

- 乳幼児にプラグをなめさせない
けがや感電の原因になります。



- 分解・修理・改造しない
火災・感電・けがの原因になります。
修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。修理については、お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。



- 不安定な場所に置かない
転倒・落下して、けがや、物品の破損の原因になります。

- 上に乗ったり、物を置いたりしない
けがや、物品の破損の原因になります。



- スプレーをかけない（殺虫剤、整髪料、潤滑油など）
引火して火災の原因になります。



- 引火性のもの（灯油・ガソリン・シンナーなど）、火の気のあるもの（たばこ・線香など）、可燃性のもののそばで使わない
火災の原因になります。



- 水まわり、風呂場など湿気のある場所では絶対に使用しない
- 本体を水につけたり、本体に水をかけない
火災・感電の原因になります。



- 子どもに使用させない
重大事故の原因になります。



- 投入口や排出口に物や手を入れない
細断部に引き込まれるおそれがあります。



- 髪の毛を投入口に近づけない
細断部に引き込まれるおそれがあります。



- 衣類の裾やネクタイなどを投入口に近づけない
- ネックレスなどのアクセサリーを投入口に近づけない
細断部に引き込まれるおそれがあります。



- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。
〔異常の例〕

- 異常な音やにおいがする
 - 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
 - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
 - 運転中時々電源が切れる
 - 触るとビリビリ電気を感じる
- 使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。



注意

誤った取り扱いをすると、人掛けがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。



- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
火災・感電の原因になります。



- シュレッダー以外の用途に使用しない
異常動作・火災の原因になります。



- 布や紙、ビニール袋などでおおったりふさいだりして運転しない
- ほこり、粉塵の多い場所で使用しない
過熱して火災の原因になります。

使用上の注意

- 次のようなことはしないでください。
 - ・本機以外のダストボックスを使用する
 - ・必要以上に逆転させる
故障の原因になります。

- 次のような物は入れないでください。
 - ・フィルム・OHPシート・ポリ袋・ビニールなど
 - ・カーボン紙・感熱紙・湿った紙・シール・タック紙・粘着テープ・新聞紙など
故障の原因になります。

- クリップ・ピン・10号針より大きいステープラーの針などは必ず取り除いてから投入する。
ステープラーの針は10号針まで細断可能です。

- 細断くずは、ダストボックスいっぱいまでためないでください。
性能の低下や故障の原因になります。

- キャスターで段差を乗り越えないでください。
キャスターの破損の原因になります。段差のあるところでは、必ず持ち上げて移動してください。

設置場所について

- 台所など、湿気や油煙の多い場所では使用しないでください。
長期間そのような場所で使用すると、ほこりが内部に付着して、取りきれないことがあります。

- 直射日光やエアコン・暖房器具の温風が当たらないところに設置してください。
変形・変色したり、誤動作したりする場合があります。

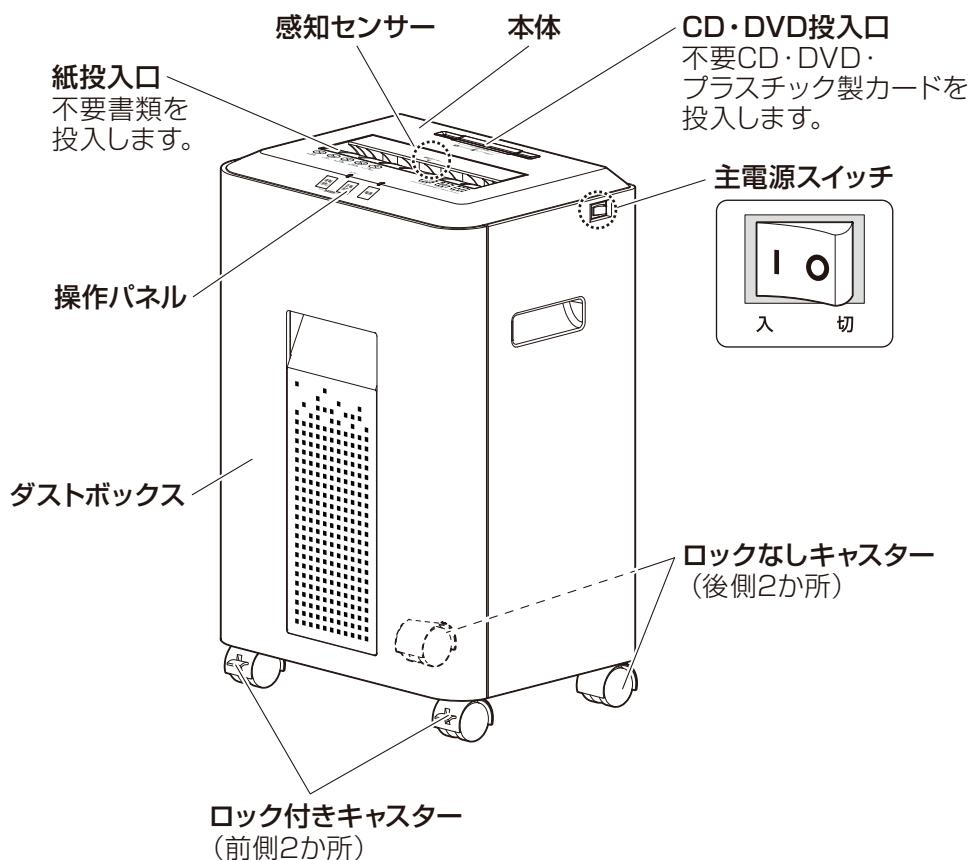
- ラジオやテレビに近づけないでください。
ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。

廃棄について

- 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

各部の名称

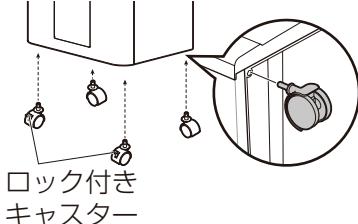
■本体



■キャスターの取り付けと設置

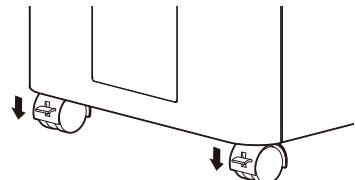
キャスターを取り付ける

- 付属のキャスターを本体底面の取り付け穴にしっかりと差し込んでください。
- 前側2か所には、ロック付きキャスターを取り付けてください。



水平で安定した場所に設置する

- 設置場所が決まつたら、動かないようにロックをかけてください。



●キャスターは一度差し込むと取り外しできません。位置をまちがえないように注意してください。

●キャスターの取り付けは、電源コードを差し込む前に、本体を横にするなどして取り付けてください。

■操作パネル

エラーランプ

適正細断枚数以上の紙・CDなどを細断しようとした場合や紙詰まりを起こした場合、赤色に点灯します。

エラー

電源ランプ

電源がオンの時に緑色に点灯し、オフの時に消灯します。



逆転
(長押し)

正転
(長押し)

電源

強制細断

逆転ボタン

長押し（1秒以上）すると、カッターが逆回転します。

正転ボタン

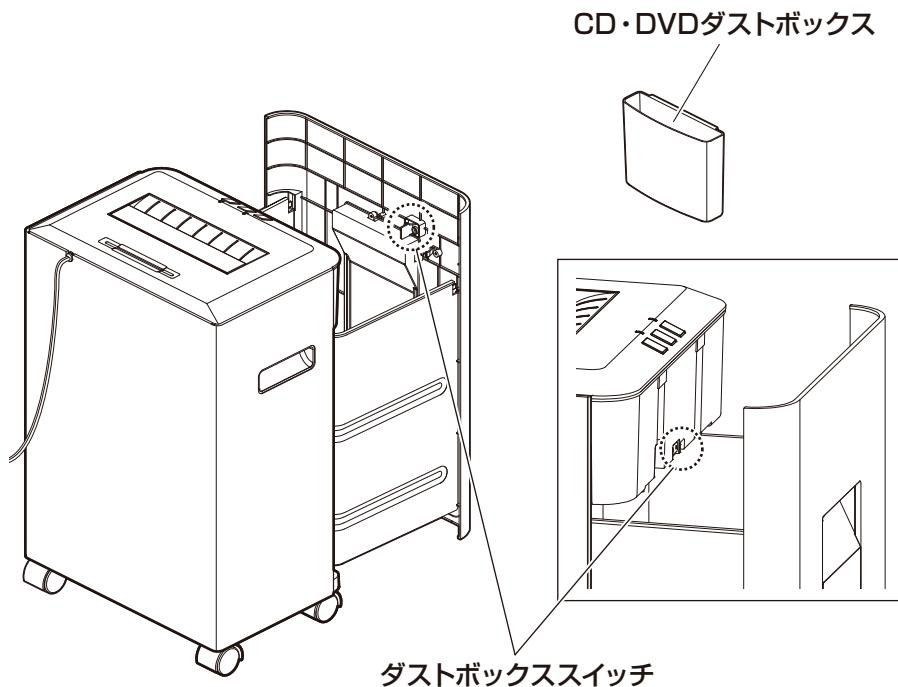
長押し（1秒以上）すると、カッターが回転します。

電源ボタン

押すと電源がオンになり、細断可能状態になります。
もう一度押すとオフになります。

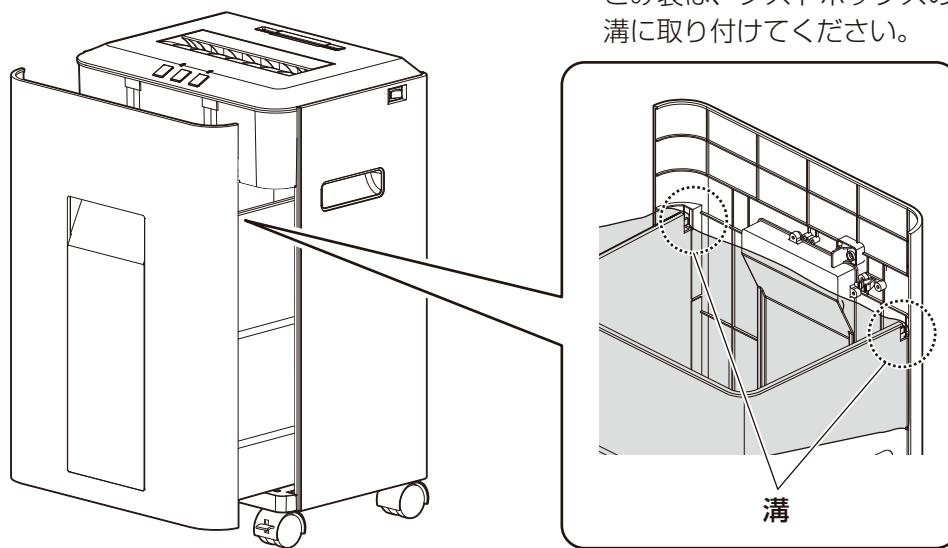
*正転ボタンと逆転ボタンを同時に押すと、正転と逆転を自動的に繰り返して（最大10回）、中に詰まった紙が強制的に細断されます。

■ダストボックス



■ごみ袋の取り付けかた

- ごみ袋は、ダストボックスの溝に取り付けてください。

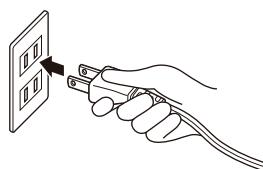


ゴミ袋サイズ(推奨)
30L (500×700mm)

- 必ずごみ袋を取り付けて使用してください。
- ごみ袋はダストボックスの内側に広げてください。

紙の細断方法

1 電源プラグをコンセントに差し込む

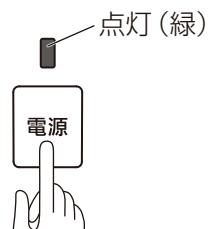


2 主電源スイッチを入れる



3 電源ボタンを押す

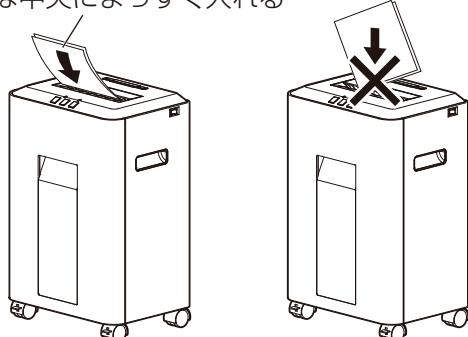
- 電源ランプ（緑）の点灯を確認してください。



4 細断したい紙を紙投入口に入れる

- 紙が感知されると、自動的にカッターが回転して細断が始まります。
- 細断が終了すると、自動的にカッターの回転が止まります。

紙は中央にまっすぐ入れる



- 使用中、本体が温かくなりますが、異常ではありません。

一度に細断できる最大枚数（最大細断枚数）

A4 コピー用紙 16枚 以内
(64g / m²) (50Hz)
※ 60Hzでは1~2枚少なくなります。

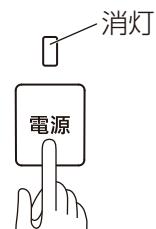
連続して細断できる枚数（定格細断枚数）

A4 コピー用紙 13枚 以内
(64g / m²)

- 紙の細断能力は、紙質、湿度などにより変わります。
- 紙を斜めに投入すると、紙詰まりなどのトラブルの原因になります、必ずまっすぐに投入するように注意してください。
- 連続投入を避け、確実に細断しきってから次の紙を投入してください。
- 投入口中央の感知センサーを通らないと、細断は始まりません。
- 連続使用は10分以内にしてください。
- 連続使用後は、必ず1時間程度休止してください。

5 使い終わったら電源ボタンを押す

- 電源ランプ（緑）の消灯を確認してください。



※ すぐに使用しない場合は、主電源スイッチも切（○）にしてください。

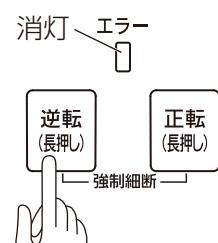
■オートクリーニング機能

細断中は、5回に1回、自動で清掃運転（逆転5秒、正転5秒）しカッターの汚れを落とします。

■オートリバース機能

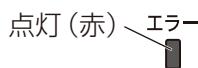
一度に多量の紙を入れたり、斜めに紙を入れると、自動的にカッターが逆転して停止し、エラーランプが点灯します。

そのようなときは、逆転ボタンを押すと、エラーランプが消灯します。消灯を確認したら、紙の枚数を減らして投入してください。



■紙詰まりしたら

紙が詰まって細断が停止すると、エラーランプが点灯します。

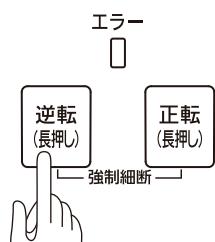


その場合は、**逆転**を使用して、詰まった紙を取り除いてください。

逆転を使用しても、詰まった紙を取り除けないときは、**強制細断**を使用してください。

逆転

逆転ボタンを長押しして、詰まった紙を引き抜く

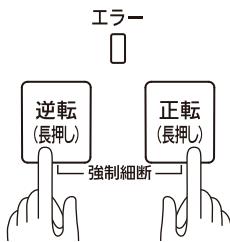


- 紙を引き抜いた後、**正転ボタン**を長押しして、内部のカッターにたまたま細断くずを排出してください。

※**逆転ボタン**を押しても動かないときは、過熱防止機能が働いています。

強制細断

正転ボタンと逆転ボタンを同時に押す



- 正転と逆転を自動的に繰り返して（最大10回）、中に詰まった紙を強制的に細断します。

※紙詰まりしていないときに強制細断を使うことはできません。

- 細断の途中で止まったまま放置しないでください。故障の原因になります。
- ダストボックスに細断くずがいっぱいのまま、逆転および強制細断しないでください。
逆転および強制細断するときは、必ず細断くずを捨ててから行ってください。

■電源ランプ（緑）は点灯しているのに運転しない

過熱防止機能が作動しています。

- 定格時間（10分）を超えるなどの連続使用でモーターの温度が異常に上昇したとき、電源を自動で遮断してモーターを保護する機能です。
- 主電源スイッチを切って、電源プラグを抜いてください。モーターの温度が下がるまで1時間程お待ちください。

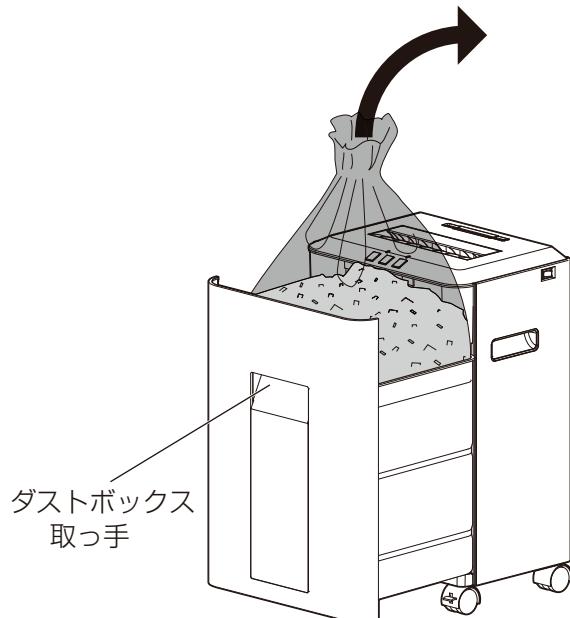
※それでも運転しない場合は、アイリスコールまでお問い合わせください。

■細断くずがたまつたら

ダストボックスは、確認窓から細断くずの量を確認できます。

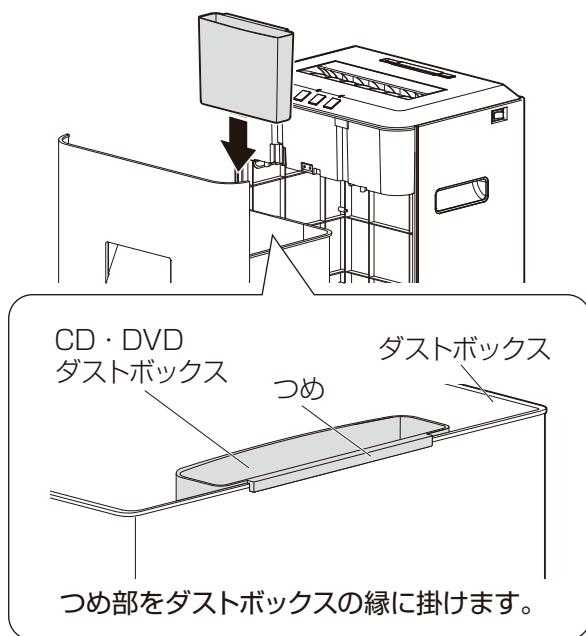
細断くずがいっぱいになる前に、ごみ袋を交換してください。

- ダストボックスは、取っ手を持って前に引き出してください。

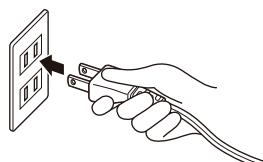


CD・DVD・プラスチック製カード類の細断方法

1 付属のCD・DVDダストボックスをセットする



2 電源プラグをコンセントに差し込む

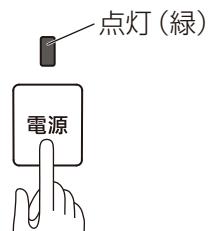


3 主電源スイッチを入れる



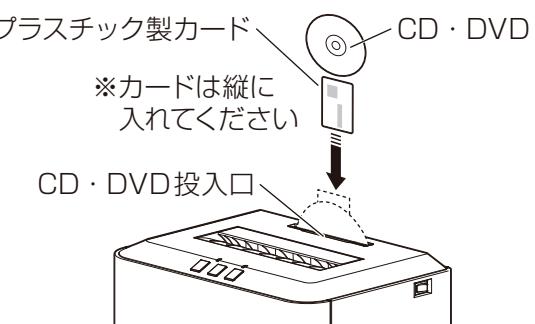
4 電源ボタンを押す

- 電源ランプ（緑）の点灯を確認してください。



5 CD・DVD・プラスチック製カード類をCD・DVD投入口に入れる

- CD・DVD・プラスチック製カードなどが感知されると、自動的にカッターが回転して細断が始まります。
- 細断が終了すると、自動的にカッターの回転が止まります。



一度に細断できる枚数
厚さ目安 1.5mm

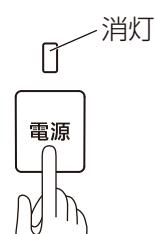
CD・DVDダスト
ボックス容量

1枚 約**10枚**

- 細断能力は、材質、湿度などにより変わります。
- CD・DVD・プラスチック製カード類は、必ず1枚ごとにカッターが完全に停止してから、次を投入してください。
- 磁気カード・ICカード・ラミネートされたカードは細断できません。
- 投入口中央の感知センサーを通らないと、細断は始まりません。
- 連続使用後は、必ず1時間程度休止してください。

6 使い終わったら電源ボタンを押す

- 電源ランプ（緑）の消灯を確認してください。



- 紙用のカッターとCD・DVD用カッターは同時に回転します。使用していない投入口についても、ネクタイやネックレス、髪、衣類などが引き込まれないように、注意してください。
- 紙とCD・DVD・プラスチック製カード類を同時に細断しないでください。モーターが過負荷になり、故障の原因となります。
- CD・DVD・プラスチック製カード類を連続で細断すると、重なって詰まりの原因となります。1枚ごとに、細断音がなくなってから、次の投入を行ってください。

お手入れ



注意

- カッター以外のお手入れは、必ず主電源スイッチを切(O)にし、電源コードを抜いて行ってください。

- 洗剤、シンナー、ベンジン、漂白剤などは使用しないでください。

カッター

シュレッダー用簡単お手入れシート（別売）を使用する場合

- アイリスオーヤマ製シュレッダー用簡単お手入れシートを細断してください。細断すると、潤滑油が行き渡り、動作を滑らかにします。

コピー用紙を使用する場合

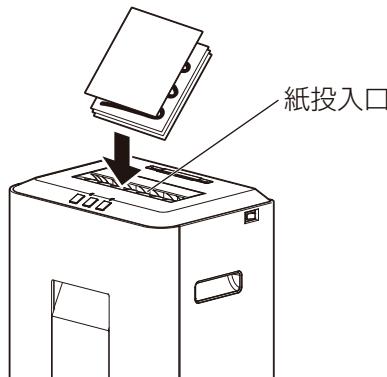
- ①コピー用紙を3～4枚重ね、1番上の用紙にミシン油を塗る



- ②ミシン油を塗ったコピー用紙の上に、さらにコピー用紙を1～2枚重ねる



- ③細断する

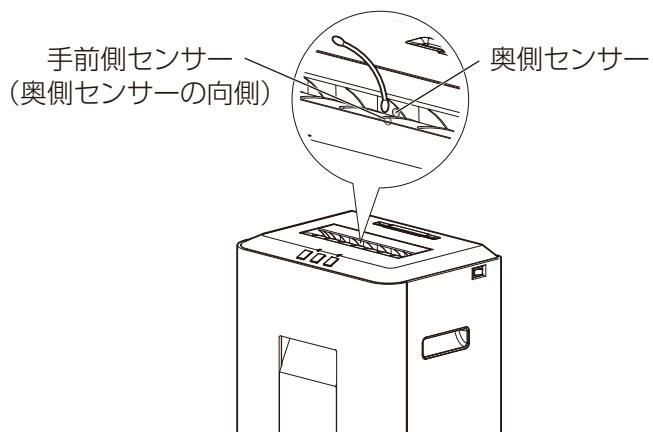


感知センサー

本機の感知センサーは光学式です。細断したときに出る紙粉などが付着すると誤動作の原因になります。定期的にお手入れしてください。

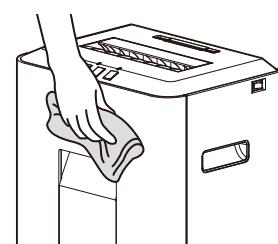
- 綿棒などで、投入口中央にある感知センサー（両側）の汚れを拭き取ってください。
- 感知センサーは発光部と受光部に分かれています。必ず両側を拭いてください。

※手前側のセンサーは、上から見えず綿棒が届きにくいので、綿棒を曲げて奥に届くようにして、拭いてください。



本体

- 柔らかい布でから拭きしてください。
- 内部に細断くずなどが飛び散っているときは、掃除機などで吸い取ってください。
- 汚れが落ちにくいときは、薄めた中性洗剤を含ませた布で拭いたあと、固くしぼった布などで洗剤分を拭き取ってください。



保管

- 長期間使用しないときは、ポリ袋などをかぶせて、湿気の少ない場所で保管してください。

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

状態	考えられる理由	処置
細断しない (電源ランプが消灯)	●電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていない	●電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
	●主電源スイッチが切(O)になっている	●本体背面の主電源スイッチを入(I)にしてください。
	●ダストボックスが閉まっていない	●ダストボックスを確実に閉めてください。
細断しない (電源ランプが点灯)	●紙詰まりを起こした(エラーランプが点灯)	●逆転または強制細断を使用して、詰まった紙を取り除き、適当な枚数で使用してください。(→P7)
	●クリップなどの金属物や異物がカッターにかみこんでいる	●詰まった物を取り除いてください。
	●オートリバースが動作した(エラーランプが点灯)	●紙が詰まっている場合は、逆転または強制細断を使用して、詰まった紙を取り除き、適当な枚数で使用してください。(→P7)
	●過熱防止機能がはたらいて停止している	●主電源スイッチを切(O)にし、約1時間放置して、細断機構が冷めてから使用してください。(→P7)
	●投入物が感知センサーを通りたくない	●投入物は投入口の中央を通るようにまっすぐ入れてください。
	●半透明の紙(トレーシングペーパーなど)を投入している	●紙を折りたたんで投入するか、不透明の紙と重ねて投入してください。
細断が終了しても停止しない	●感知センサー部分に紙片やごみなどがはさまっている	●主電源を切り、感知センサー部分にはさまっている紙片やごみなどを取り除いてください。
	●オートクリーニング機能がはたらいています	●清掃運転(逆転5秒、正転5秒)が終わると停止します。
本体が動く	●キャスターがロックされていない	●水平で安定した場所に設置し、前側のキャスターをロックしてください。(→P4)
ひんぱんに エラーランプが 点灯する	●カッターが汚れている	●カッターをお手入れしてください。(→P9)

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

●自分で分解・修理・改造しないでください。

仕様

電源電圧	AC 100V	
電源周波数	50Hz	60Hz
待機時消費電力	2W	
定格消費電力	340W (50Hz)	370W (60Hz)
投入幅	218mm (紙投入口)	
細断サイズ	紙：約4×34mm CD：幅約20mm	
細断速度	約3.0m/分 (50Hz)	約3.5m/分 (60Hz)
最大細断枚数	A4コピー用紙 (上質紙64g / m ²)	16枚 (50Hz) ※60Hzでは、1～2枚少なくなります。
定格細断枚数	A4コピー用紙 (上質紙64g / m ²)	13枚
	CD・DVD・プラスチック製カード (厚さ1.5mm)	1枚
定格時間	10分	
ダストボックス容量	約23L	
外形寸法 (電源コード含まず)	幅365×奥行260×高さ565mm	
質量 (電源コードを含む)	約13kg	
電源コード長さ	約1.4m	

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、保証書（裏表紙）に記載されています。保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■ 换修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の換修用性能部品を製造打ち切り後、5年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

オフィスシュレッダー OF16J

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことを約束するものです。

お買い上げ日 ※ 年 月 日		保証期間 お買い上げ日より：1年間
お客様	お名前	住所・店名
	ご住所 〒 電話 () -	※販売店 電話 () -

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡しください。

保証規定

- 1 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 2 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 3 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- 4 ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 5 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - ① 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - ② お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - ③ 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - ④ 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
 - ⑤ お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - ⑥ 本書の提示がない場合
 - ⑦ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 6 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 7 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間にについては、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号 ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせは

アイリスコール 通話料無料

0120-311-564

修理に関するお問い合わせは

修理専用コール 通話料無料

0800-170-7070

受付時間 平日 9:00~17:00、土・日・祝日 9:00~12:00 / 13:00~17:00 (年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

FAXでのお問い合わせは

通信料無料

0800-888-2600

Webからのお問い合わせは <https://www.irisohyama.co.jp/support/>
メールフォームにご記入のうえ送信してください